

2020年12月期決算説明会

2021年2月19日

株式会社 **正興電機製作所**

目 次

1. 2020年12月期決算概要

取締役常務執行役員

経営統括本部長

田中 勉

2. 各事業の取組みについて

代表取締役社長

添田 英俊



SEIKO
ELECTRIC
正興電機製作所

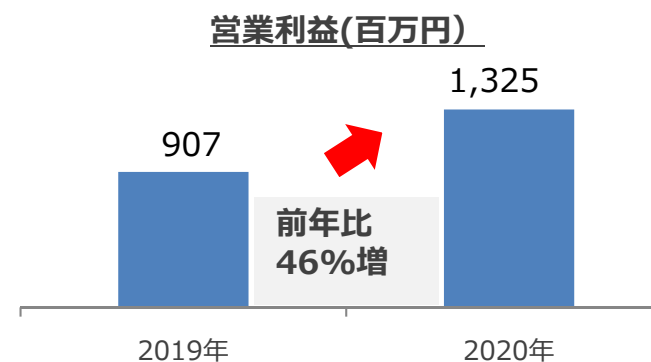
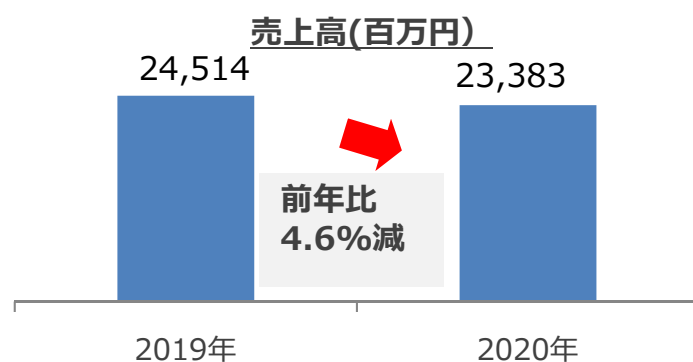
1. 2020年12月期決算概要

○ 2020年12月期 決算ハイライト

- ✓新型コロナウイルス感染症の影響により、海外拠点の営業・生産活動の停滞やサービス部門にて再生可能エネルギー関連工事の着工や進捗遅れが発生し売上高は減少。
- ✓利益においては、主力である電力・環境エネルギー部門が堅調に推移し増加。

単位：百万円

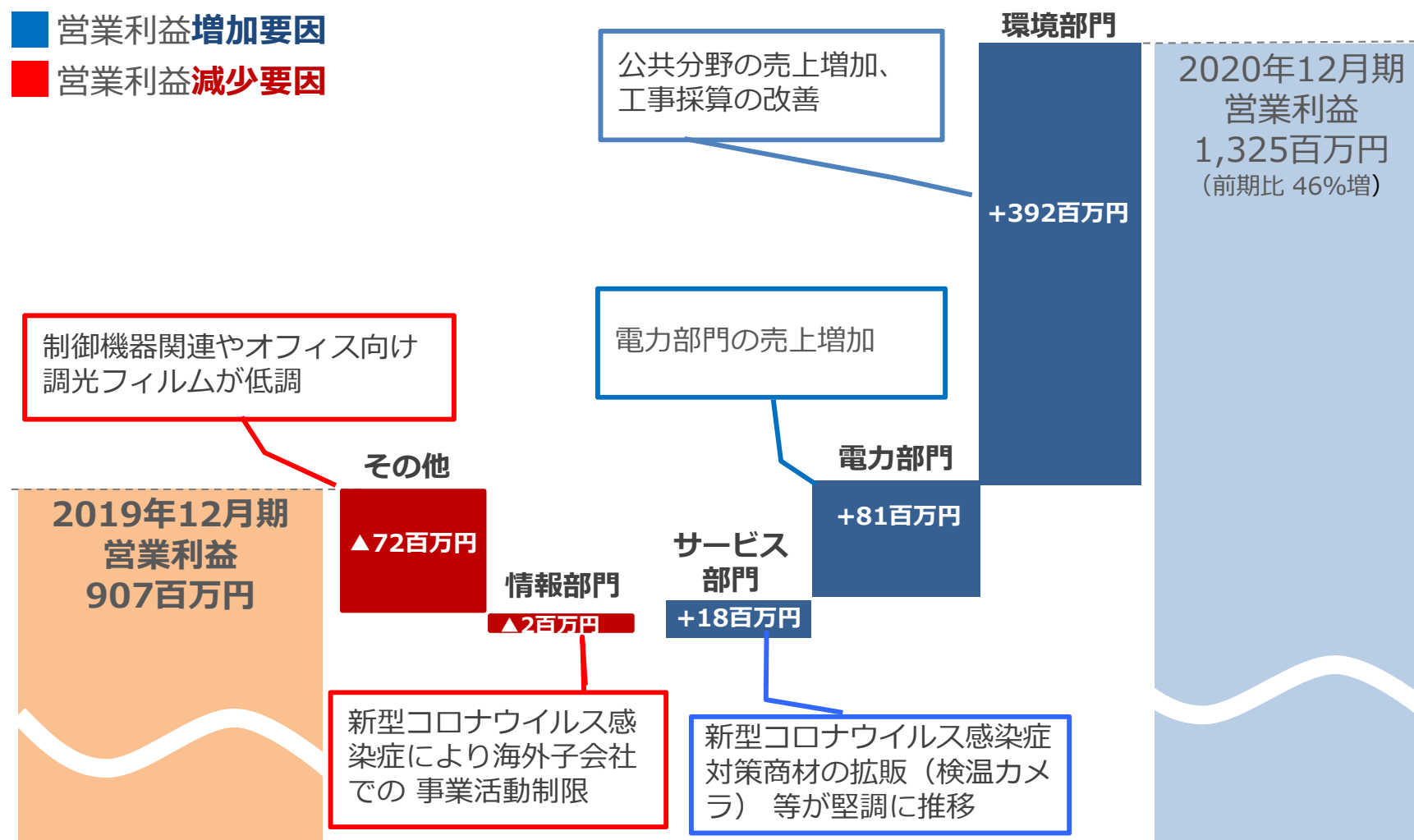
	2019年 12月期	2020年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	25,543	26,501	958	3.8%
売上高	24,514	23,383	△1,130	△4.6%
営業利益	907	1,325	417	46.0%
経常利益	1,006	1,347	340	33.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	700	1,039	338	48.3%



● 営業利益の増減要因

■ 営業利益**増加**要因

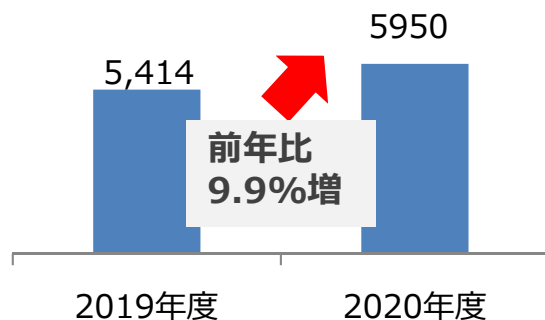
■ 営業利益**減少**要因



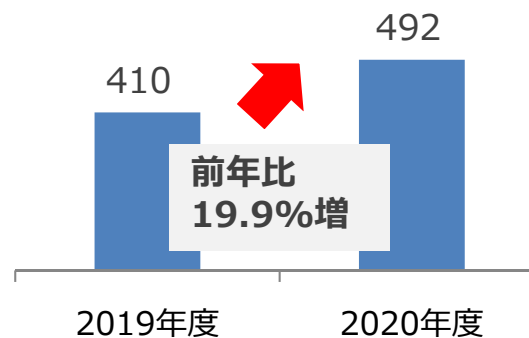
●セグメント別業績

<電力部門>

売上高(百万円)



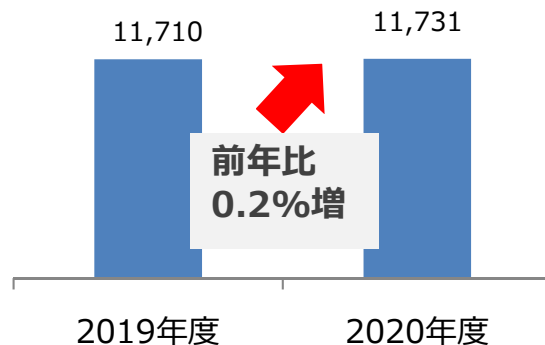
セグメント利益(百万円)



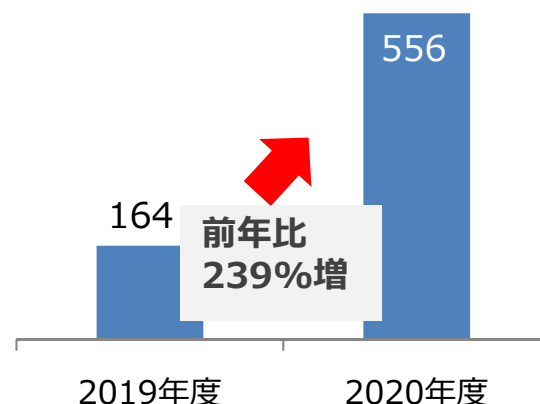
電力システム改革に対応した情報制御システムや発電所向けの製品が堅調に推移し、売上・利益ともに増加。

<環境エネルギー部門>

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)

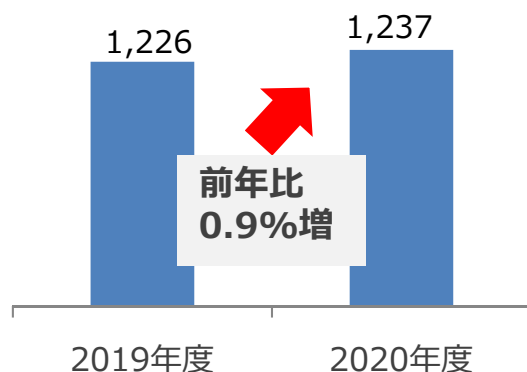


水処理設備向け監視制御システムや道路設備向け受配電システムが堅調に推移。工事採算も改善し売上・利益ともに増加。

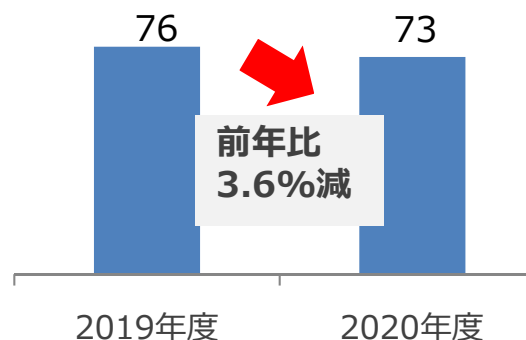
●セグメント別業績

<情報部門>

売上高(百万円)



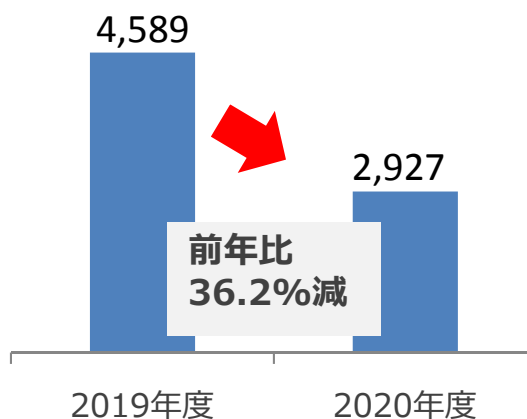
セグメント利益(百万円)



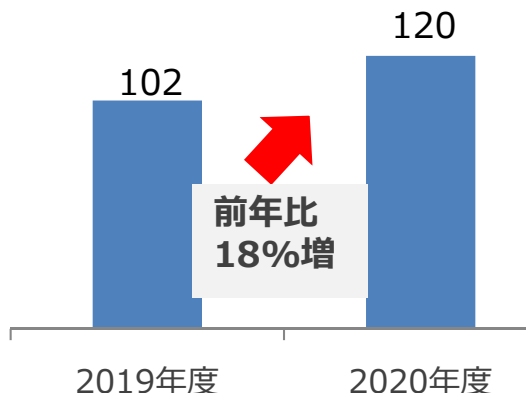
国内の金融関係や一般企業向けのシステム開発が堅調に推移し、売上は増加するも、海外において新型コロナウイルス感染症により事業活動が制限されたことで利益は微減。

<サービス部門>

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)

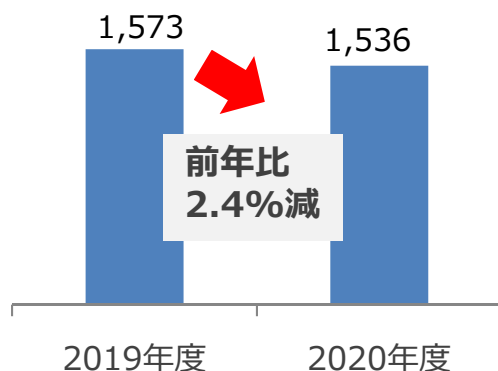


大口の太陽光発電設備関連製品の減少により、売上高は前期比で減少するも、新型コロナウイルス感染症の対策商材として検温サーモカメラなどの拡販などが堅調に推移し、利益は増加。

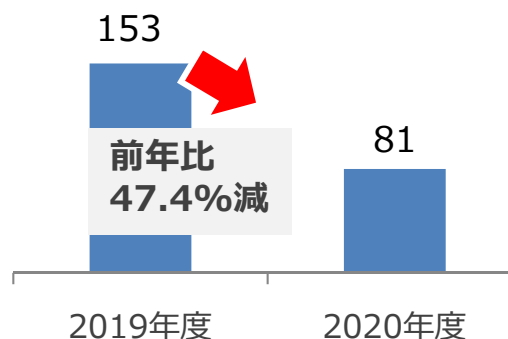
●セグメント別業績

<その他>

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)

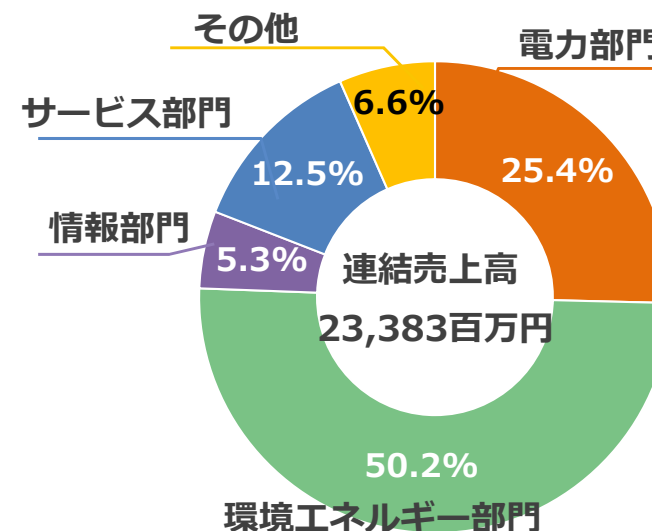


制御機器関連やオフィス向けの調光フィルムが低調に推移したこと等により売上・利益ともに減少。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響

- 民間向け事業においては需要の落ち込みが一部あったものの、主力事業である国内の電力・環境エネルギー部門には大きな影響無し。
- 海外拠点（中国、フィリピン、マレーシア）において年度前半は活動制限令により営業・生産活動に落ち込むも後半改善。
- 新型コロナウイルス感染症に対応した検温カメラなどの製品、サービスの開発を展開。

2020年度売上（部門構成比率）



● 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	2019年12月期末	2020年12月期末	増減額
流動資産	14,925	16,473	+1,548
固定資産	6,453	7,434	+980
資産合計	21,379	23,907	+2,528
流動負債	9,810	11,573	+1,762
固定負債	2,359	2,186	△173
負債合計	12,170	13,760	+1,589
純資産合計	9,208	10,147	+938
負債・純資産合計	21,379	23,907	+2,528
自己資本比率	43.1%	42.4%	△0.7%

● 連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

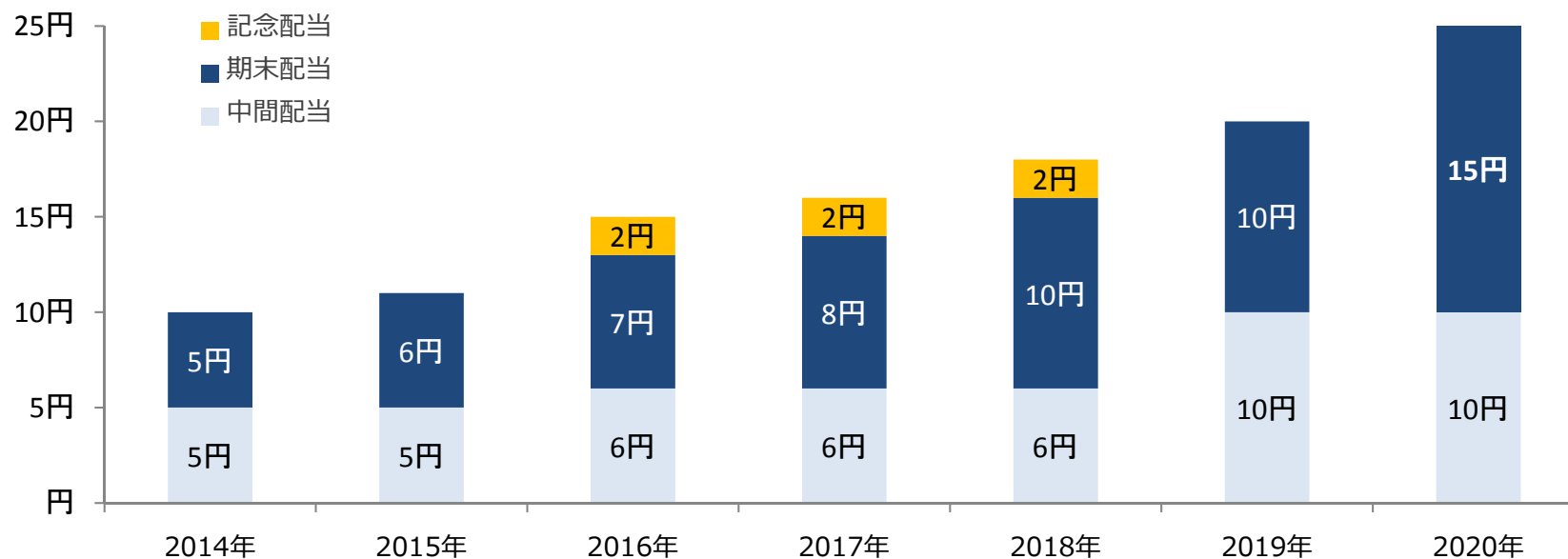
	2019年12月期	2020年12月期	増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,718	△644	△2,363	
投資活動による キャッシュ・フロー	△348	△617	△269	—
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,319	1,518	2,838	資金調達により増加
現金及び現金同等物 の期末残高	1,558	1,820	262	—

● 配当について

配当金	2020年12月期			2019年12月期（参考）		
	中間配当 （実績）	期末配当	年間	中間配当	期末配当	年間配当
1株当たりの配当金	10円	15円	25円	10円	10円	20円

期末配当：効力発生日 2021年3月15日

（注）2016年・・・創立95周年記念配当 2円
 2017年・・・東証第二部上場記念配当 2円
 2018年・・・東証第一部銘柄指定記念配当 2円



● 2021年12月期 業績見通し

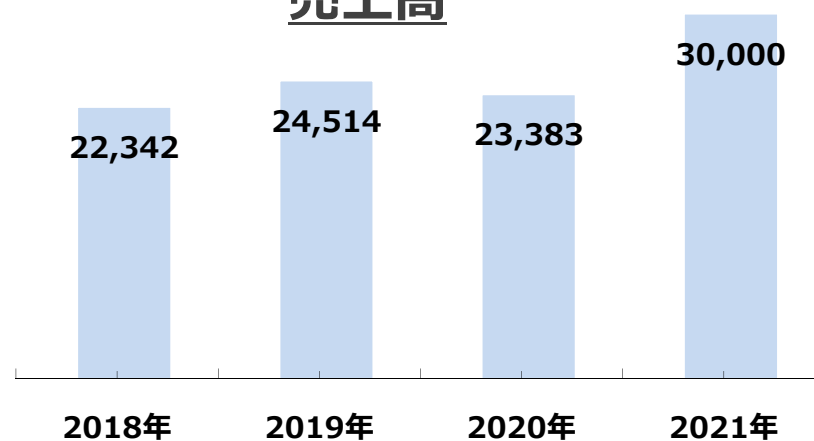
中期経営計画 SEIKO IC2021 (創立100周年)

単位：百万円

	2020年 12月期	2021年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	23,383	30,000	6,616	28.3%
営業利益	1,325	2,000	674	50.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,039	1,430	390	37.6%
期首受注残	15,529	18,661	3,132	20.2%

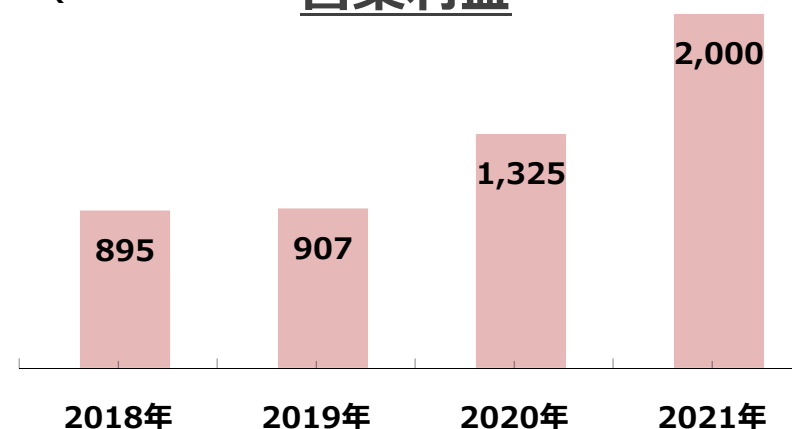
(百万円)

売上高



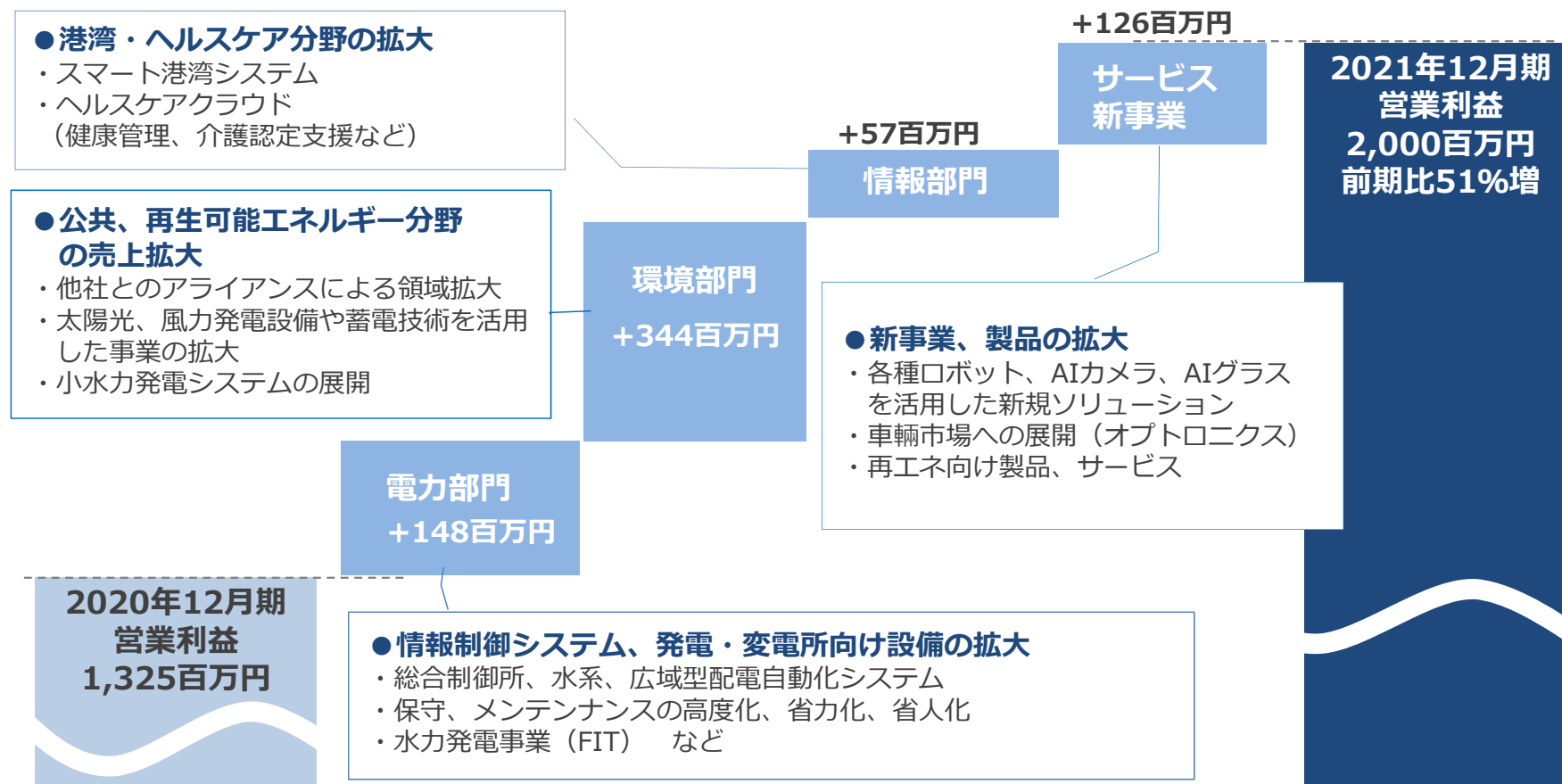
(百万円)

営業利益



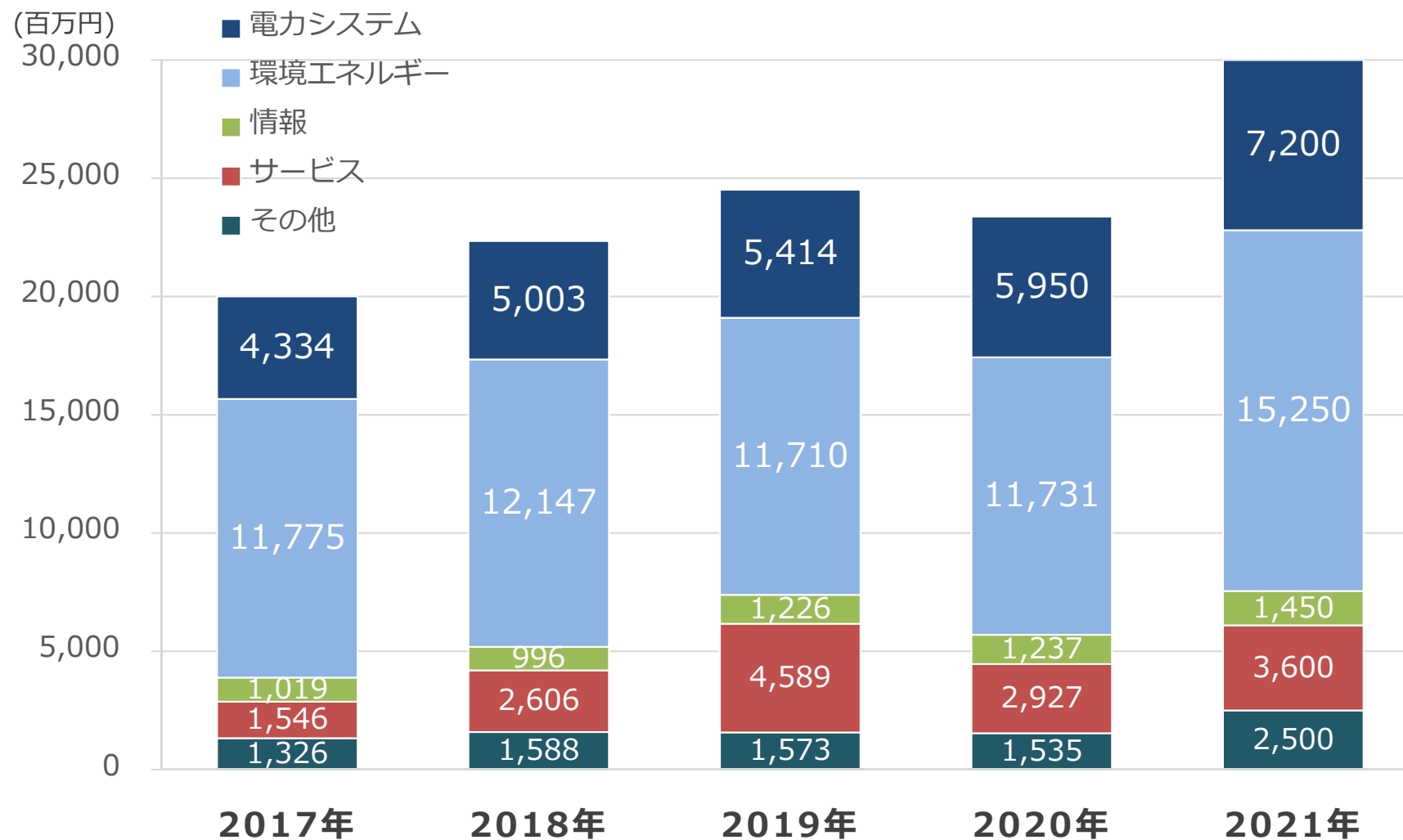
● 2021年 営業利益計画

- 主力である社会インフラ事業（電力・環境エネルギー分野）を中心に成長。再生可能エネルギー関連事業の拡大やAI・DXなどを活用した新事業を展開。



● 2021年12月期 セグメント別売上計画

●セグメント別 売上計画





SEIKO
ELECTRIC
正興電機製作所

2. 各事業の取組みについて

●電力部門

電力システム改革へ対応した製品・システムによる事業領域の拡大

- OT(制御技術)・IT(情報技術)による情報制御システムの拡大
- 電力設備や保守メンテナンスのデジタル化・高度化
- 水力発電 (FIT事業) など再エネ事業の拡大

情報制御システム



新総合制御所システム



広域型新配電自動化システム

自動巡視点検ロボット

- 点検ロボット：発電所・変電所



○火力発電所における巡視点検の効率化に向け、関西電力堺港発電所で実証実験を開始

遠隔設備監視システム

- 電力会社の変電所400箇所に展開 (2019年から開始)



設備データの取得を遠隔化・自動化することにより業務効率化を実現

● 環境エネルギー部門

環境・エネルギーソリューションによる社会インフラ事業の拡大

- 公共インフラ（水処理、道路設備）事業の拡大
- 再生可能エネルギー分野への展開
太陽光、小水力（FIT）、蓄電技術を活用（企業・一般家庭）

公共インフラ（水処理・道路設備）

- ・ 他社とのアライアンスによる事業領域拡大
- ・ 工事施工体制の強化



浄水場監視
制御システム



下水処理監視
制御システム



道路設備向け
受配電システム

再生可能エネルギー

- ・ 太陽光、風力発電所向け受配電システム
- ・ 小水力発電（FIT事業）の拡大
- ・ 家庭用蓄電システム
- ・ 事業所向け（中容量）蓄電システム



小水力発電システム



ソーラーカーポート
太陽光システム



ハイブリッド型蓄電システム



企業・工場（中容量蓄電）

● 情報部門

クラウド・Iot・AIを活用したサービスの拡大

- 港湾サービス分野の拡大 (国内トップシェアの実現)
 - ・コンテナ管理等の業務系クラウドからスマート港湾への展開 (国土交通省のサイバーポート)
- ヘルスケアクラウドサービス事業の拡大
 - ・健康経営企業 (電力、金融等)、自治体をターゲットに展開
 - ・サーマルカメラを活用した入退所・健康管理システムの開発・拡販
- 介護認定支援システムの更新需要取込み (制度改正への対応)

港湾システムソリューション



健康管理ソリューション



海外事業

海外拠点を中心とした中国・東南アジア市場への展開

- **設備メンテナンスを基軸とした安全・安心・省エネ事業の展開**
 - ・ 電気設備メンテナンスの拡大（中国：老朽化に伴う火災の頻発、法整備化）
 - ・ 24時間設備監視サービスの展開（大連地区の日系企業向け）
- **日系進出企業への電気設備事業の拡大**
- **環境ソリューション事業の拡大（中国進出日系企業との連携）**
 - ・ VOCs、排水処理、省エネ提案
- **情報システム事業の拡大（日系および大手企業）**
 - ・ 生産管理システム（IoT） ・ 基幹業務システム ・ オフショア



電気設備メンテナンス



24時間設備監視サービス



制御・電気機器製品



VOCs



工場トータル 情報ソリューション

- ・ 生産管理
- ・ 生産計画



・ 在庫管理

- ・ 備品管理(RFID)
- ・ 販売管理
- ・ 給与管理
- 稼働情報収集 (IoT)

新事業・新製品への取組み

●各種ロボットを活用した新製品・サービスの展開

- ・自動運転やAI、センサー技術を活用した警備、保守・保全業務の効率化（省人化）、高度化（デジタル化）

警備ロボット

5Gを活用したロボット警備サービス
(DOCOMO/にしけい殿との協働)



- 自動パトロール、AIによる識別・測定機能を搭載した次世代の総合的な警備ロボット

巡視点検ロボット

発電所やプラント設備における巡視点検の自動化、効率化を実現。



- 自動巡視点検機能、メーター識別機能を搭載した次世代の総合的な巡視点検ロボット

噴霧式消毒・紫外線ロボット

Androidデバイスで設定・操作することで自動走行による噴霧作業が可能



- 夜間の自動走行や、障害物自動回避機能により不特定多数の人が行き交う場所での走行も可能

新事業・新製品への取組み

●AIカメラを活用したソリューションの提供

- ・AI顔認証サーマルデバイスにて発熱者を検知し感染リスクを低減。また、認証による入退所管理や個人の健康管理をサポートし管理コストの削減。

AIカメラ

顔認証サーマル デバイス



複数人同時検温



顔認証・ 検温入退ゲート



AI検温プリンタ



ソリューション

勤怠管理や入退管理など社員の健康状態をクラウドで管理



勤怠・入退所管理
システム



健康管理
ソリューション

認証・
検温データ

トピックス

- AIスマートカメラ、ARグラス開発で技術力を持つHMS株式会社（福岡）に出資。（2021年1月）
- 電力・産業向けにAI・ARソリューションを活用したDXビジネスを展開。

○AIカメラ

工場等のものづくり現場・検査工程やロボット、AGV(無人搬送車)など

○ARグラス

電力を中心にした操作支援システム、保守点検作業などへの展開

ARグラスを活用した操作支援、保守点検



○画像情報読込み

- 機器画像読取り
- 操作手順表示
- 現場映像配信
- 仮想タブレット表示
- GPS位置確認

○仮想タブレット（操作手順など）

○現場映像配信

AI内臓
スマートカメラAI内臓次世代
産業用ARグラス

(注記)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの業績見通しのみにより依拠して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。